

KCJS ニュースレタ 2017年 秋学期 第13号

FOR JAPANESE STUDIE 京都アメリカ大学コンソーシアム http://www.kcjs.jp/

KYOTO CONSORTIUM

書道体験

ジョーン・エヴァンズ (ペンシルベニア大学)

書道ができてとてもよかったです。その前にも書道 をしたことがありましたけど、長い間していないから、 下手になりました。はじめは恥ずかしかったけど、サ ークルのメンバーはとても優しくて、よく僕を手伝って くれました。例えば、僕が知らない漢字を書きたかっ たら、メンバーはその漢字を書いてくれました。それ に、漢字を書くために、書道は本当に役に立つと思 います。元々漢字はいつも墨で書きましたから、書 道をした後で、筆順の理由がよくわかりました。

I really enjoyed practicing calligraphy with Doshisha University's shodō club. While I have had prior experience, I had not had the chance to practice in a long time. The club members were very kind and patient, helping me whenever I struggled. For example, they would demonstrate how to paint kanji I wanted to attempt. Additionally, it was fun to observe how shodō connects to writing kanji on paper: I now understand the reason it is important to follow stroke order.



生け花体験

ガーリン・リュウ (ボウディン大学)

+月二十三日、私は KCJS の皆さんと一緒に池坊流生け 花発祥の地・六角堂というお 寺に行って、お寺と生花の歴 史の説明してもらいました。 生け花の色々な種類は三つ あります。そのうち、立花が一



Find us on

Facebook

番古くて、ルールが多いです。そして、生け花は自然 な花の姿を表すように作ります。私達は一番新しい自 由花というスタイルをしました。自由花はルールがあま りなくて、好きなように作ることができます。自分で作る のはとても難しかったですが、素晴らしい経験でした。

We went to learn about and try our hands at ikebana at the founding place of the famous Ikebono school, Rokkakudo. The teacher taught us both the history of the temple as well as the development of ikebana. Although ikebana is very difficult and requires a lot of concentration, I am proud of my first-time creation!



KCJS ニュースレター 第13号

茶道体験

リサ・チ(ノースウェスタン大学)

9月7日に同志社大学の継志館で茶道体験をした。 継志館の和室で同志社大学生と同志社女子大学生に 会って、茶道の歴史や準備について簡単な説明をし てもらった。そして、同志社大学生と同志社女子大学 生が茶道の実演を見せてくれた。実演のあとで、私達 も抹茶を作って飲んでみたが、作るのも飲むのも難し かった。たくさんルールがあるからだ。でも、同志社大 学生と同志社女子大学生は親切で、抹茶は美味しか ったから、とてもいい体験だった。茶道の大切なことは 単純だけど、日常生活でも有意なので、日本人であれ 外国人であれ、茶道を楽しむことができると思う。

On September 7th, I went to a tea ceremony experience at Doshisha University's fitness center, Keishikan. In Keishikan's traditional Japanese room I met Doshisha University and Doshisha Women's University students and they gave us an easy to understand explanation of Japanese tea ceremony history and preparation. The students also gave us a demonstration. Afterwards, we also tried to make and drink matcha tea, but both making and drinking it was difficult. This is because there were many rules. But because the Doshisha University and Doshisha Women's University students were nice and the matcha tea was delicious, it was a very good experience. Simplicity is important to Japanese tea ceremony, but because it is significant in everyday life, whether it be Japanese people of foreigners, I think everyone can enjoy Japanese tea ceremony.



稲刈り

シンシア・ブー(イェール大学)

何週間か前に稲刈りをした。その日は雨が降ったが、 日本にいる経験の中で一番面白い経験だったと思う。 皆が一緒に米を刈り、米を束ねて竹のスタンドに置い た。そういうことをするのは初めてで、ほかの学生がどう やってするか教えてくれた。そこで、優しい留学生と日 本人と会えて本当に嬉しかった。終わった後で、竹で 作ったカップでスープを飲んだ。出来ればまたしてみ たい。

日本人の友達



今学期一か月間、同志社大のゼミ生が日本にいる外 国人向けの情報誌を作るのを手伝いました。それで、 その雑誌を作るために同志社生が錦市場の職人と会 ってインタビューをするのを実際に見たり、湯葉を作る 過程も見たりしました。その後、授業で日本人の学生た ちがそれぞれ京都にしかいない職人さんの工房やお 店に行って取材した内容の発表を見ました。今手伝っ てあげていることは、その発表の内容が読みやすい日 本語で書かれているかどうかを確認することと、他の言 語に翻訳することです。今までこれほど積極的に日本 人の学生たちの授業に参加できたことがなかったの で、いい経験になったし本当に楽しかったです。

This past month, I have been helping Japanese students create a guidebook aimed at foreigners staying in Japan. The book deals with information that would be helpful for foreigners to know before visiting for instance Kyoto's traditional artisans and craft workshops. During the process of gathering information for the book, I was able to do things such as listening to fellow Doshisha students conducting an interview of the owner of a famous sushi restaurant in the Nishiki Market and directly help with translating the parts of the book into languages such as English and Korean. I found this experience to be very rewarding because I got to directly work alongside Doshisha students and contribute to their class.



I tried" inekari" (rice harvesting) few weeks ago. The Japanese students were all very kind and taught me everything I needed to know. I got the chance to hand cut the rice and tie them in bundles. Afterwards, we all drank soup out of bamboo they cut at the field. It was a very good experience.

KCJS ニュースレター 第13 号

映画サークル「FBI」

カーン・タ (ボストン大学)

日本に来てから今まで色々な楽しいことがありました。 その一つは「FBI」という映画を作るサークルに入ったこ とです。そこでは撮影とか照明といったことに参加でき ます。このサークルはボストン大学の映画の授業のよう だと思います。同じような装置があるし、自主映画を作 っているし、学生が運営しているから、ボストンみたいだ と考えてちょっと懐かしくなります。学生の作る映画に過 ぎないんですが、毎週撮影に行くのは楽しいです。だ から、KCJS に来たら、FBI に入ってみることをお勧めし ます。

Since I've come to Japan, I've been to do many fun things. One of them is joining FBI, which so far has been incredibly fulfilling. From renting equipments to being student-run, the club is just like my film classes back in Boston; it's kind of nostalgic.

CIPとは

学生たちが、ボランティア等を通じて、日本の地域社会 とつながりを持つプロジェクト。それぞれが興味を持って いる活動を選んで参加する。

政策学部合同授業

ベロニカ・ウィンターズ (ワシントン大学セントルイス校)



政策学部の木場先生の学生と協働できて本当によ かったです。防災についての新しい単語を使う機会 であっただけでなく、日本の防災、地震とか、台風と かが発生したらどうすればいいかという情報について もよく習えました。Eクラスの学生も自分の出身地で 発生する可能性がある防災について発表をしました から、お互いに勉強になったと思います。それに、政 治に興味があるという共通点もあって、新しい日本人 の友達を作れました。このプロジェクトの目標は京都 に住んでいる外国人の生活上の困難な点と、留学生 が同志社からもらう災害や防災について情報のどこ が不十分かということを調べて、レポートにまとめ、同 志社に改善を提案するということです。この協働の結 果を楽しみにしております。

軽音楽部 ディラン・オング(ノースウェスタン大学)



私は中学生の頃からトランペットを吹いており、色々な バンドと演奏したので、留学前から音楽のサークルに入 りたかった。それで、今、CIPとして、同志社大学の軽音 楽部の7つのバンドに入っている。バンドの曲は範囲が 広く、ジャズやファンクなどをやっている。毎年、同志社 大学は「EVE 祭」という3日間のお祭りがあり、約70の バンドが演奏する予定だ。その準備のために、毎週4 回ぐらい、皆と一緒に何時間も練習しているので、仲が 良い人が多くなり、練習の外でバンドメンバーと遊んだ り、話したりしている。音楽が好きで、ジャズやロックをや りたかったら、軽音楽部に参加しよう!

As my CIP, I became a member of the "Light Music Club" on campus, which has over 70 bands within the organization! I am currently a member of 7 of those bands, and will be performing in Doshisha University's annual "Eve Festival." This organization offers a great opportunity to meet many people and play music alongside them, so I definitely recommend joining!

I am glad to be working Professor Kiba's policy studies students as it gave me and opportunity to not only learn and use new vocabulary, but also to learn about the proper ways to response to commonly occurring natural disasters in Japan, such as typhoons and earthquakes. The learning was mutual, I think, since class E students also gave presentations on natural disasters that could happen in our respective hometowns. This collaboration also gave me a chance to make new friends who share a common interest in politics. The purpose of the project is to research difficulties that foreigners living in Japan might have as well as the inefficiencies within the Doshisha University's disaster preparation information that is distributed to exchange students. After we research these points, we will be summarizing them and presenting some solutions in a proposal which will then be submitted to Doshisha University. I look forward to our project's end results.

KCJS ニュースレター 第13号

http://www.kcjs.jp/

国際茶会 アダム・ローウィンガー(シカゴ大学)



私は国際茶会に行きました。雨が降っていたので、 茶会は遅く始まりましたが、待っている間に、茶会の ルールと歴史についての映画を見ました。30分後、 茶道が始まりました。茶会には外国人25人と日本人 10人が来ていました。はじめに、一番上の先生が、 茶会について説明してくださいました。それから、茶 会に使われる茶道具について説明を受けました。 色々な国からのお茶の生徒がお茶とお菓子を出して くれました。茶会の後で、お客さんに茶道具を見せて くれました。最後、出発する前に、私もお菓子を頂き ました。おもしろかったです。

On a particularly rainy Saturday, I went to the International tea ceremony. Despite some initial delays, the overall ceremony was very fun and informative. The head teacher took her time to emphasize and explain every aspect about the tea ceremony and the tea study program offered at the location. Overall, it was a very welcoming tea experience for foreigners.

ホストファミリー ケイティー・ロス(サウス大学)



最初、日本語があまりできなくて、とても緊張していました。初めて会った日、タクシーの中でほとんど話せませんでした。でも、家の掃除を手伝ったり、子供達と遊んだりするうちに、だんだん慣れてきました。

お母さんは毎日素晴らしい料理を作ってくれます。 子供達は、会話の相手になって面白い言葉を教えてく れます。よくコミュニケーションが取れていて、家族は私 を理解してくれています。

交流会 アレックス・ハッチンス (コーネル大学)



KCJSの学生たちは九月八日に日本人の学生と の交流会に参加しました。同志社大学の学生が勉 強している言語の上達のために夢見てきた国際的 な計画を聞くことはすばらしかったです。学生たち の様々な夢は、私が日本語を学び始めたばかりの 時に、海外に留学したいと思ったことを思い出させ てくれました。美味しい食べ物を食べ、美味しい飲 み物を飲んで、多くの日本人学生とおしゃべりをで きたのはいい経験でした。

On September 8th, KCJS students were able to participate in a cultural exchange party with Japanese students. It was wonderful to hear the dreams and ambitions that the Doshisha students had regarding their plans for improving upon the various languages that they are learning. This in turn reminded me of the time when I had just began studying Japanese and wanted to study abroad. The food and drinks were delicious, and it was a great experience being able to speak with so many Japanese students!

私もホストファミリーが大好きで、頂いた経験と知識 に本当に感謝しています。大変なことがあっても、 ホームステイは重要な経験です。

I have very little Japanese skills, but despite that disadvantage, my host family experience has been amazing! It's not always easy and there will be plenty of times struggle of communicating can be a lot, but I think it's worth doing a homestay once in your life.



《近況報告》

アレン・チェングさん(KCJS 28 通年 コーネル大学)漢字検定準 2 級合格 リチャード・ワンさん(KCJS 28 春 ボストン大学)JLPT N1 合格 ユーペイ・グオさん(KCJS 28 通年 イエール大学)卒業後東京の会社に就職内定 ハナ・レーセンさん(KCJS 27 春 プリンストン大学)Princeton in Asia fellowship に在籍、山口大学勤務 チェルシー・林さん(KCJS 27 秋 タフツ大学)東京在住で外資系広告会社勤務 シオン・ヤオさん (2014 年夏 ペンシルバニア大学)東京在住で建築事務所勤務 ナターシャ・ガリンさん(KCJS 23 通年 タフツ大学)アメリカの高校に日本語教師として勤務 ブランドン・シムズさん(KCJS 23 秋 ボストン大学)東京在住で LINE 勤務 ジェイソン・ベックマンさん(KCJS 21 秋 ブラウン大学)スタンフォード大学博士課程在籍中 マット・サバンさん(KCJS 20 通年 ブランダイス大学)、ケイ・神尾さん(KCJS 20 通年 ボストン大学)夫妻 ニューヨーク市在住。第二子誕生。 ジョン・ジョハナスさん(KCJS 18 通年 ブランダイス大学)ゲーム会社 Tango Gameworks 勤務 「PsychoBreak2」をディレクターとして指揮 マイケル・ツールさん(KCJS 18 春 ボストン大学)フルブライト奨学生